

動けるカラダはいまからつくる!

簡単

口コモ予防 エクササイズ

ほぐしストレッチと簡単なトレーニングで
長く動けるカラダを今からつくりましょう!

健康運動指導士 一般社団法人ケア・ウォーキング普及会代表理事 黒田 恵美子

テーマ

肩甲骨の柔軟性を高める

肩甲骨が硬くなり動きが悪くなると、猫背になりやすく、骨盤にゆがみが起きて、膝痛や腰痛につながることもあります。肩甲骨回りをほぐし筋肉を鍛えることで柔軟性を高め、膝や腰に負担をかけない体をつくりていきます。

ほぐし

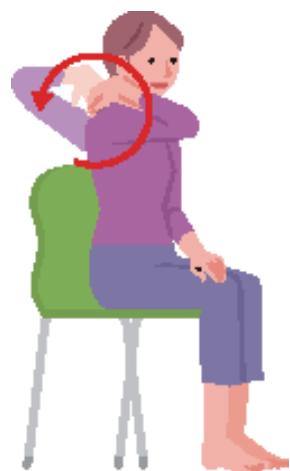
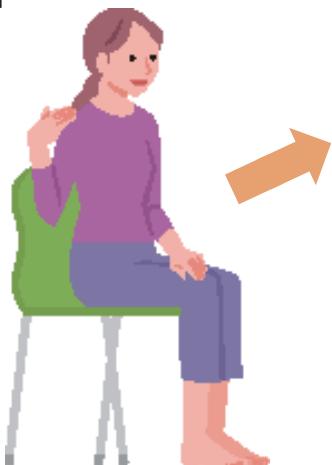
肘肩まわし

肘で円を描くようにしっかり回し、肩甲骨回りをほぐします。

1

手の先を肩（硬い人は胸の辺り）に当てます。

内回しと外回しを左右それぞれ10回ずつ行う



2

腕を回すのではなく、指の先は体に付けたまま肘で円を描くように回します。慣れてきたらだんだん大きく回します。

肩を上下させず、肩の位置はそのまままで肘を回しましょう。

筋トレ

引き寄せパンチ

イスに座り、引き寄せる動きを意識したパンチを繰り返すことで、肩甲骨の筋肉が動く感覚を身に付けます。

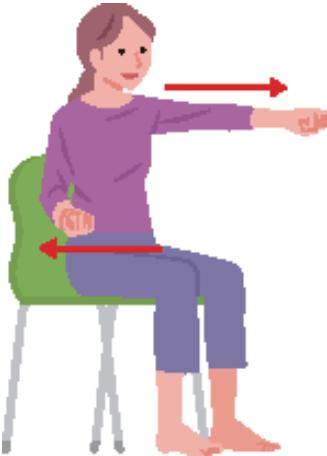
1

イスに背筋を伸ばして座り、足は軽く開きます。こぶしを握って腰に当てるます。

こぶしは最初に4本の指を曲げ、親指を後からのせる形にします。



左右交互に20回行う



2

肘を後ろに引くときは、肩甲骨の間の筋肉を引き締めることを意識しましょう。

片腕を前に真っすぐ押し出すようにパンチ、反対の手は肘を後ろにしっかりと引きます。これをゆっくりと力を入れながら繰り返します。

効果の実感
ポイント

腕を上げやすくなったり、肩周辺が柔軟になることで肩の凝りが軽減されます。

動画
でも
見られる



アクセスは
こちらから



※動画は予告なしに終了する場合があります。